

無料

※価格は特記以外税込み。消費税増税により、4月1日以降、紹介した金額が変わることがあります。各企業等に確認を。



※英語の動詞の「dig」には、「掘り起こす、探究する」という意味があります。「DIG」という名称には「災害意識を掘り起こそう」「地域を探究しよう」「災害を理解しよう」といったねらいが込められています

ご存じですか？ 家庭内DIG(ディグ)

人の力では防ぎようのない地震や災害。被害やリスクを0にすることはできませんが、日々の備えによって、減災しようという取り組みが広がっています。

「DIG」から災害が起きた時を想定して、自分の身は自分で守る備えをしておくことが大切です」と語るのは、静岡県地震防災センター所長の小林佐登志さん。

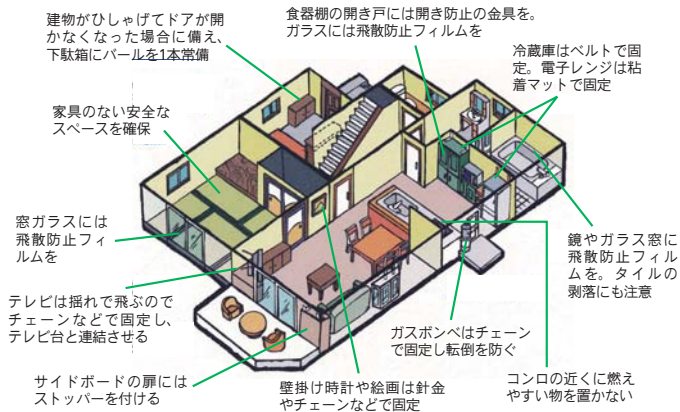
「過去の災害で、被災者の避難所での生活は大変過酷なものだったそうです。災害が起きた後、不自由でも自宅を過ごすことがストレス軽減のポイントになります。家屋の耐震対策、家具の固定などがあなたや家族の命を守ります。そして一週間分

の食料の備蓄をしておくことが大切です。絶対に安全な場所はどこにもありません。自分の身は自分で守るしかないのです」

そこで注目されるのが「家庭内DIG」。DIGとは大きな地図や住まいの見取り図を囲みながら、参加者全員で災害時の対応策などを考える訓練のこと。Disaster Imagination Gameの頭文字を取って「DIG」(※と名付けられました)。

地震・防災対策

自分の命は自分で守る！



地震や災害から身を守るには、自分で自分(家族を含む)を守る「自助」、地域などで助けあう「共助」、国や地方公共団体の「公助」という考え方があります。東日本大震災の教訓を生かし、まずは自分たちでできる「自助」について家族で話し合しましょう。

(森山奈緒記者、河野陽子記者)

【家の中や周辺の危険箇所】

- ◆リビング・ダイニング
 - テレビ=飛んでくる
 - 本棚=転倒して、中の本が飛び出す
 - 窓=割れて部屋の中に破片が散乱する
 - 照明=落ちて蛍光灯が割れる
 - ピアノ=床の上を滑る、あるいは転倒する
- ◆キッチン
 - 食器棚=扉が開いて中の食器が落ち、床に割れた食器が散乱する
 - 冷蔵庫=転倒して中の物が散乱する
 - 電子レンジ=飛んでくる
- ◆寝室
 - タンスやドレッサーなどの家具が転倒する
- ◆子ども部屋
 - 学習机=上の棚が倒れる
 - 本棚=転倒して中の本が飛び出す
 - キャスター付き家具=部屋の中を走り回る
- ◆屋外
 - ブロック塀が倒れて粉々になったり、物置が転倒する
 - マンションなどではエレベーターが停止する

家族でできる「自助」について話し合おう

日ごろから、いざという時に自分と家族を守るために必要な備えについて話し合うことは重要です。具体的に何が必要なか、ほんの一部をご紹介します。

- 家庭内DIGを使って話し合う
 - 家庭内の危険箇所や防災対策を検討するためのイメージトレーニングをしましょう
- 「津波でんでんご」を意識する
 - 「でんでんご」とは、でんでんばらばらの意味。津波が来たら、家族、家財に構わず真っ先に逃げろという三陸地方の言い伝えです。お互いが無事であることを信じ、まずは自分の命を守りましょう
- 家具、大型家電の固定をする
- 地域で行われている防災訓練に参加する
- 小さい子どもは名前や住所が言えるように
 - 方が一親とはぐれてしまっても、名前や住所が分かれば、親を見つける手がかりになります
- 災害用伝言サービスの確認
 - 災害時、家族、知人の安否確認をスムーズに行うために各種通信会社が行っているサービスです。「171」に電話して音声登録する「災害用伝言ダイヤル」と、携帯電話、PHSで、メール文として文字登録する「災害用伝言版」があります。それぞれ利用方法を確認しておきましょう

地震・防災対策

自分の命は自分で守る！

耐震補強で地震に強いわが家に！

どんなに防災対策をしていても、家が崩壊してしまったり、自分や家族の命を守ることはできません。

平成7年に起こった阪神・淡路大震災では、地震で亡くなった人の約9割が建築物の倒壊や家具の転倒による圧死だった。

現在、県や市区町村では、昭和56年5月31日以前に建てられた木造住宅は、無料の耐震診断が受けられます。

耐震診断から補強工事までの流れ

① 専門家の耐震診断(無料)

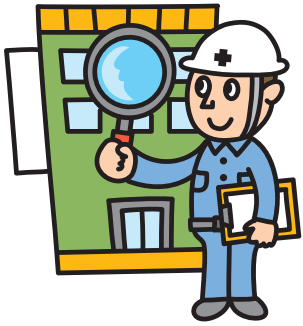
電話一本で市町が派遣する専門家による耐震無料診断を受けることができます

② 耐震補強工事の設計

どこをどう補強するかを検討して、「耐震補強計画」を作成し、補強のための工事費を算出します。1戸あたり9万6000円まで(費用の3分の2以内)、補助金が出ます

③ 耐震補強工事

1戸あたり30～80万円の補助金があります。高齢者のみの世帯や障害のある人と同居の世帯は割増制度が受けられます。また市町によって上乘せがある場合もあります



また耐震補強工事には、県や市区町村から補助金が出ます。詳細は、お住まいの市町の担当窓口にお問い合わせください。

◆体験しながら学ぶ！地震防災センター◆

「静岡県地震防災センター」は、リアルな地震の揺れを体感できる起震装置、迫力ある映像で津波の仕組みを学べるシアター、防災対策コーナーなどがある学習施設です。東海地震に立ち向かうための知識と対策・装備の普及、防災意識向上を目的としています。

現在行われている取り組みの一つに「女性防災リーダー」の育成があります。東日本大震災を経験した女性たちの声をもとに、女性が自主防災活動へ積極的に参加できるような環境づくりを目指しています。



地震体験コーナー(上)、消火体験コーナー(左)



住所／静岡市葵区駒形通 5-9-1
 ☎ 054(251)7100
 開館時間／午前9時～午後4時
 休館日／月曜、年末年始(12月28日～1月4日)
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/e-quakes/index.html>